

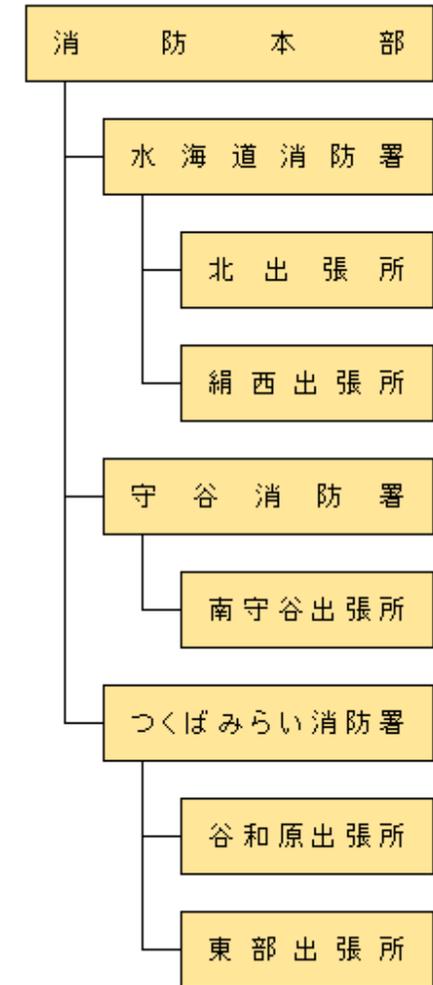
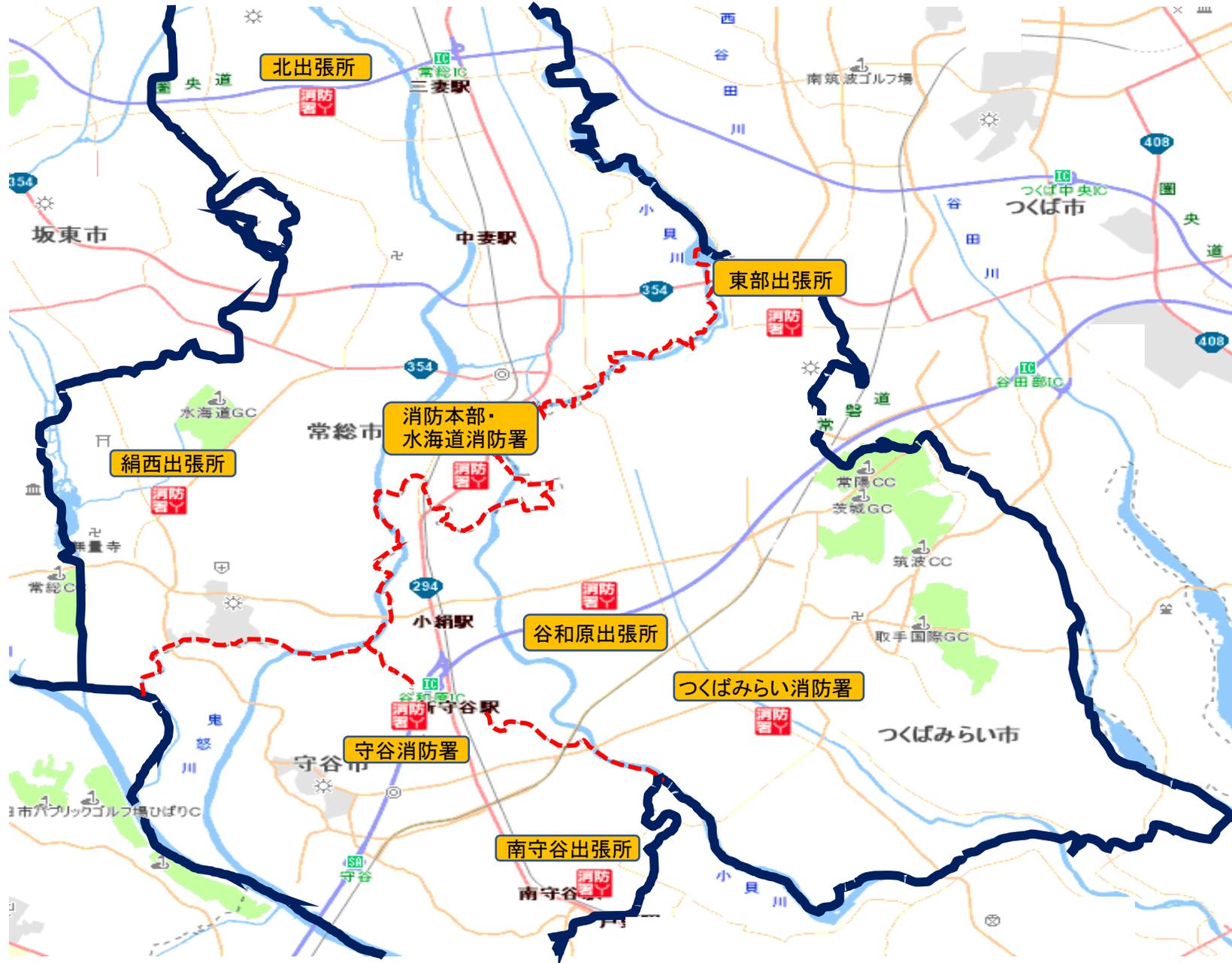
(仮称) みらい平消防署建設事業計画 住民説明会

常総地方広域市町村圏事務組合消防本部

議事次第

1. 開 会
2. あいさつ
3. 出席者紹介
4. 説 明
5. 質疑応答
6. 閉 会

常総地方広域市町村圏事務組合消防本部（常総広域消防本部）の組織



職員数・・・272名
(令和7年3月現在)

説 明

1. 事業の目的
2. 建設地の概要
3. 事業スケジュール
4. 統合による影響

1. 事業の目的 常総広域消防本部水海道消防署が水害を経験

鬼怒川の決壊場所



水海道消防署玄関



救助艇より撮影



水海道消防署前国道294号線



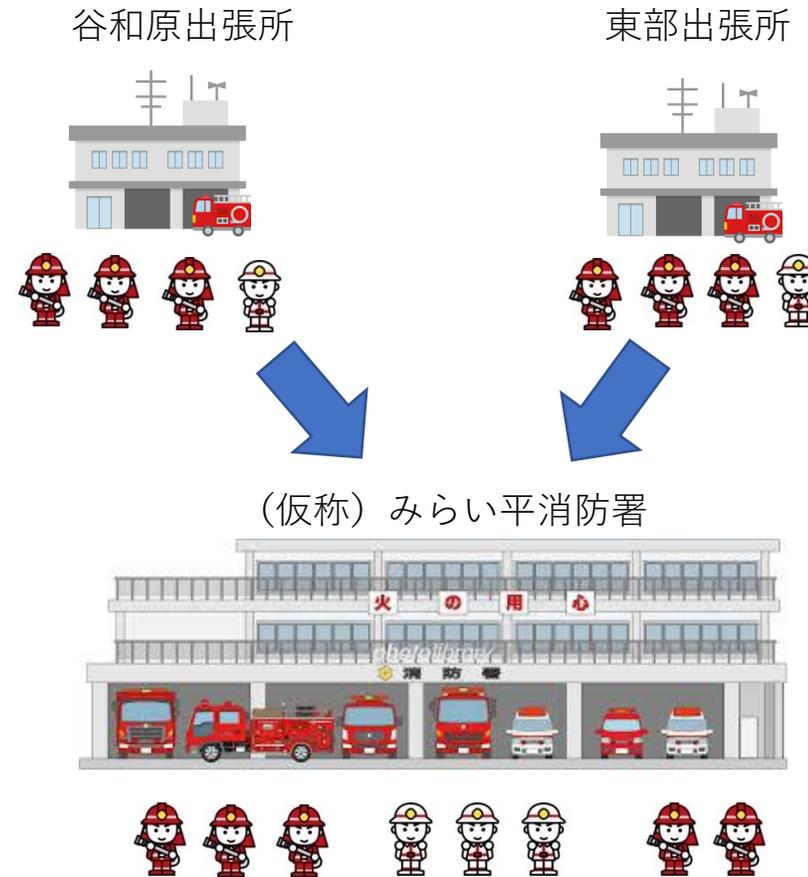
1. 事業の目的



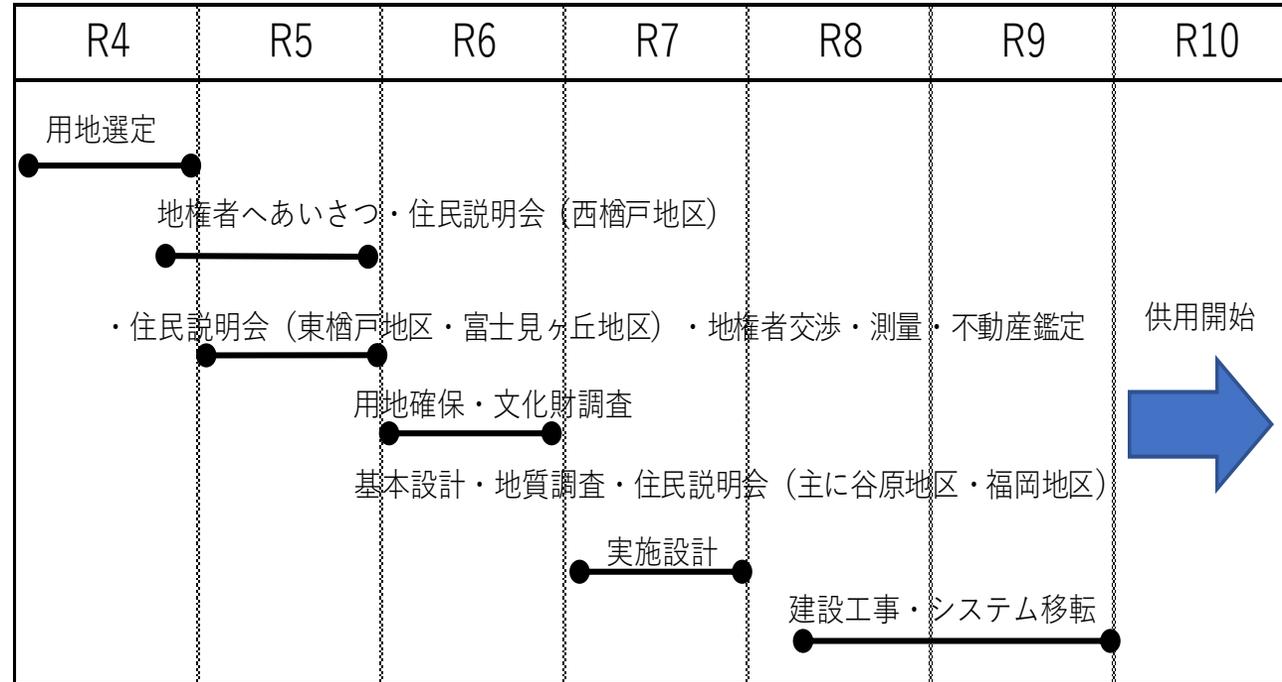
消防力最適配置報告書より

1. 事業の目的

谷和原出張所と東部出張所を整理統合し、みらい平地区に（仮称）みらい平消防署を建設する。



3. 事業スケジュール



〈今後の予定〉

- 令和6年度 用地確保・文化財調査・基本設計・地質調査・住民説明会（主に谷原地区・福岡地区）
- 令和7年度 実施設計
- 令和8～9年度 建設工事・システム移転
- 令和10年4月 供用開始

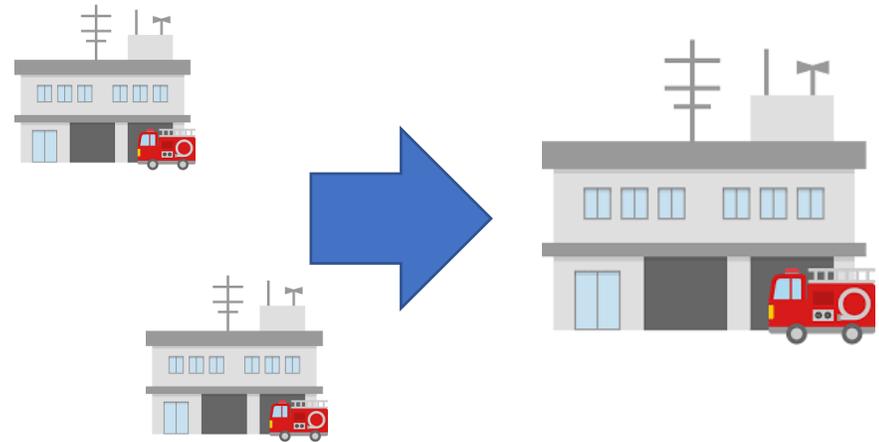
4. 統合による影響

Q 出張所統合によるメリットは？

A ①部隊の集約（複数隊が同時出動可能）

②運用車両の増加（兼務運用の解除）

③施設維持コストの削減



兼務運用

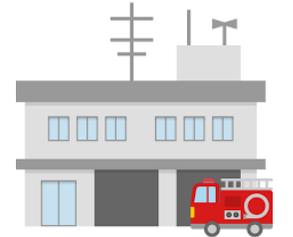
1 隊（最低3名）で2 車両を運用する。
出張所は、最低4名で勤務
消防車は最低3名、救急車は3名で運用

【メリット】

- ・火災、救急どちらの災害にも対応できる。（初回のみ）

【デメリット】

- ・どちらか1 車両のみしか運用できない。（重複災害に対応できない）
- ・非効率な車両の運用



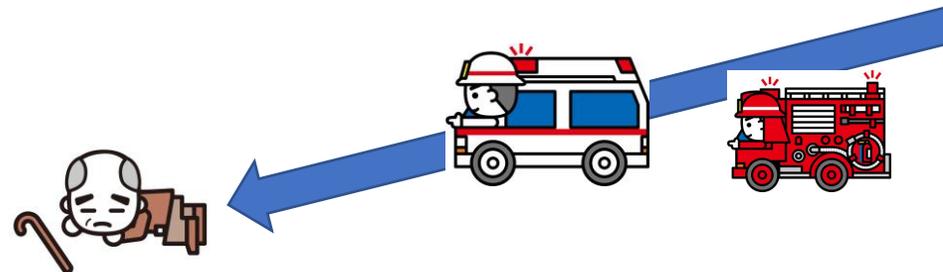
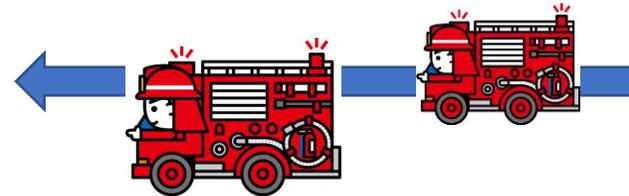
多隊運用

【メリット】

- ・重複災害に対応可能。
- ・災害種別に応じて出動車両の選択が可能。

【デメリット】

- ・人員の増員、施設の大規模化



PA連携：救急車と消防自動車が同時に出場すること



現在 (兼務運用)

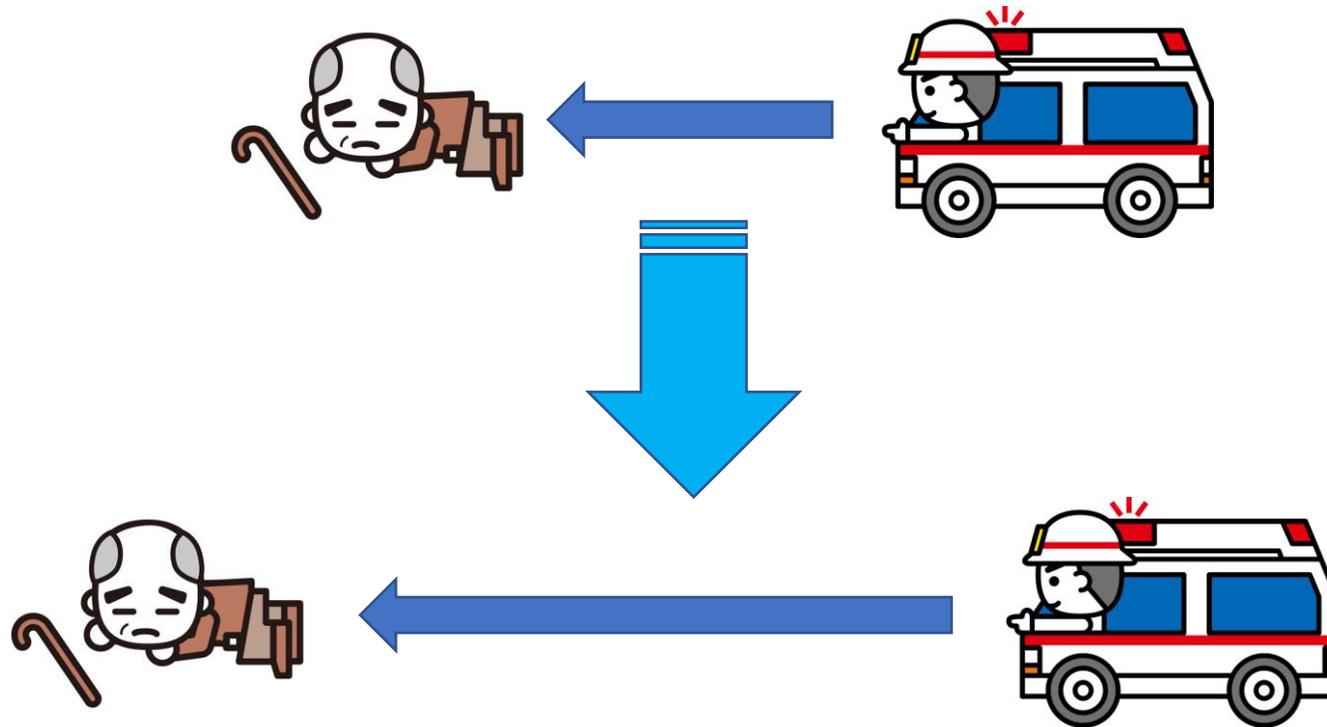
別々の出張所から出場
現場に到着する時間にタイムラグが発生するため、救命処置に時間がかかる

(仮称) 未来平消防署 供用開始後 (多隊運用)

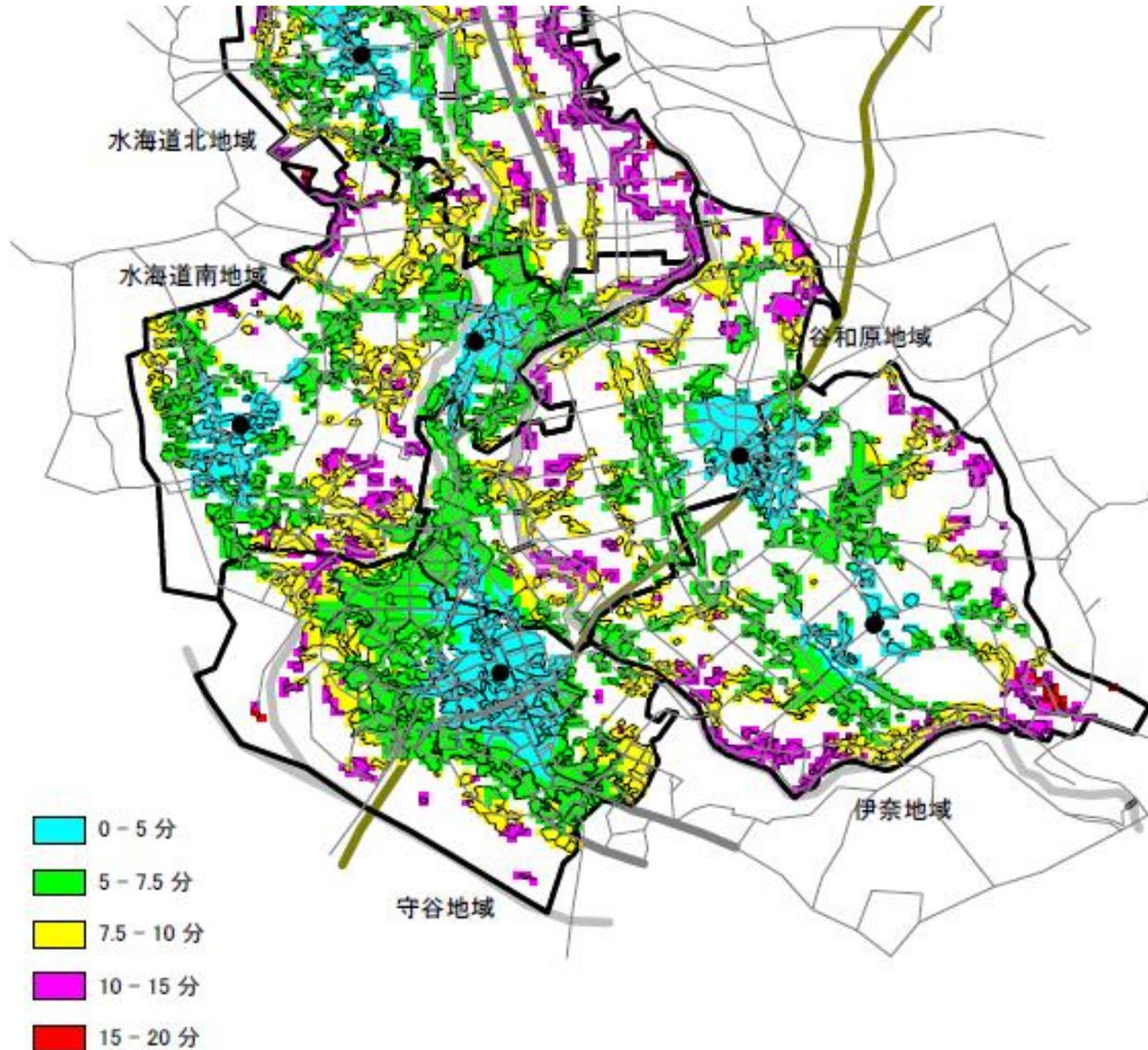
同じ消防署から出場
現場に到着する時間が同時のため、迅速な救命処置が可能となる

Q 署所統合によるデメリットは？

A 地域により救急車の到着時間が
延伸することです。



救急車の現場到着所要時間について



現場到着所要時間
全国平均は10.3分
(令和4年12月現在)

5. 質疑・応答
